

「現代的なリズムのダンス」受講者の消費行動に対する意欲に関する研究 Consuming Behavioral Intention among Students Taking Classes of “Modern Rhythmic Dance”

1K09B221

指導教員 主査 松岡 宏高 先生

渡辺 彩水

副査 木村 和彦 先生

【目的】

平成 24 年度から、文部科学省の発表により、中学校体育でのダンスおよび武道科目の必修化が発表された。そして、ダンス科目には「現代的なリズムのダンス」が含まれた。それを受け、ストリートダンス市場の拡大に期待が寄せられている。なお、本研究における「ストリートダンス」は、「HIP-HOP を起源とした、オールドスクール、ニュースクールの全てを含むダンス」と定義している。

現在のストリートダンス人口は、正確な数は把握されていないが、200～400 万人程度と推測されている。中学校教育でダンスが必修化されることで、ストリートダンス人口の増加が見込まれている。また、必修化に伴い消費行動が活発になることも予測され、ダンス関連製品(シューズ、ウェア等)の製造と販売や、ストリートダンサーとのアスリート契約など、ストリートダンスはビジネスの対象として見られるようになった。

このように、ダンス科目の必修化がストリートダンス市場の拡大に寄与することが期待されている背景を受け、本研究では、「現代的なリズムのダンス」の受講生は、学外でのストリートダンスの消費活動に対して意欲を持ちうるかを明らかにすることを目的とする。

【方法】

2012 年 11 月 14 日、都内の公立中学校である M 中学校にて、中学 2 年生 120 名を対象に質問紙調査を行った。質問紙の配布・回収は、調査対象校の体育科教師に委託した。回収率は 98%、115 の有効回答数を得ることができた。

質問紙には、(1)ストリートダンスに対する認知・イメージ、(2)「現代的なリズムのダンス」の授業評価、(3)学外でのストリートダンスに関する活動、の 3 つの観点での分析を行うための項目を含めた。分析は、回答者の①性別、②認知、③感想、④経験の 4 つの特性による授業評価の差異を、t 検定を用いて確認した。

その結果を踏まえ、上記の 4 つの特性および授業構成要素と、その後の消費活動に対する意欲の項目との関連について、t 検定、相関分析を用いて分析を行なった。最後に、消費行動に至らない理由をまとめ、授業の改善点を挙げた。

【結果】

回答者の 4 つの特性によって、「現代的なリズムのダンス」の授業構成要素 8 項目がどのように評価されるのかについて、次のような結果を得た。

①性別:8 項目中 7 項目で、男子よりも女子のほうが高い評価をしていることが明らかとなった。必修化され、男女共修となったばかりのダンス科目は、まだ男子にとっては親しみの持ちににくい種目であると考えられる。

②認知:「もっと難しい内容にチャレンジしたい」の項目で、認知者(=授業以前にストリートダンスを知っていた人)とそうでない人に評価の差がみられた。自由記述から、認知者のイメージするストリートダンスと、授業内で取り組んだカリキュラムの難易度に差があったことが推測される。

③感想:授業に対する感想がポジティブかネガティブかによって、2 項目で評価が分かれた。ダンス科目で用いる音源によって、受講者の評価が変化する可能性が示唆される結果となった。

④経験:2 項目で経験者と未経験者の評価が分かれた。ダンス経験者は音を聞き取ることに慣れており、ダンス科目の楽しみ方もわかっていると考えられる。

消費行動に対する意欲について、(1)授業評価が高いほど、消費行動に対する意欲も高くなること、(2)積極的に授業に取り組む、難しいことへの挑戦意欲があること、の 2 点が明らかとなった。ダンスを楽しめる受講者は、その後の消費活動に対する意欲が高いと考えられる。表 1 は、分析結果をまとめたものである。

消費行動に至らない理由の分析から、「潜在的な消費意欲がありつつ、習い事や部活動で時間を取れない」生徒(「時間の制約」)の存在が明らかになり、彼らがダンスに取り組める環境を整備することが、ストリートダンス人口の拡大に繋がると考えられる。

表 1 4 つの特性+意欲と授業評価の t 検定結果

授業評価8項目	性別 女子 > 男子	認知 知っていた > 知らなかった	感想 ポジティブ > ネガティブ	経験 経験者 > 未経験者	意欲 意欲あり > 意欲なし
使用された音楽は、 踊っていて楽しいものだった			*		
使用された音楽は、 授業にふさわしいものだった	***				
授業中、音楽は しっかり聞き取れた	***			*	
授業のレベルは、 自分のレベルに合ったものだった	**				*
授業に対して、 積極的に取り組めた	**				***
もっと難しい内容に チャレンジしたい	***	*		*	***
授業の内容は、 自分にとって面白いものだった	**				**
授業を受けて、 ダンスを楽しみと思った	***		*		***

***p<.001 **p<.01 *p<.05

【考察】

本調査の結果、その後の消費行動に対する意欲を引き起こす要素として、「もっと難しい内容にチャレンジしたい」という挑戦心が挙げられる。調査対象校での「現代的なリズムのダンス」の指導内容が比較的簡単なものであり、受講後により高いレベルを求めて学外のレッスンに通う可能性が十分に考えられる。受講者の特性によって指導内容を工夫することで、「現代的なリズムのダンス」はストリートダンス市場の拡大に寄与する可能性を秘めているといえる。